

授業科目名	【G】	情報法入門	区分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2	
			その他参照					
科目区分	専門科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブタイトル	メディア, インターネットの法規制について考える				担当者	渡邊 美樹		
授業概要	【概要】	今日、マス・メディアやインターネットをとりまく情報環境は、従来の法的枠組みを超え、変化し続けています。この授業では、インターネット、マス・メディアの法規制、プライバシー権・肖像権と表現の自由との調整、また様々な表現活動をめぐる諸問題などについて、基本的事項に解説を加えながら学びます。授業では、適宜、重要判例についても解説し、検討を加えますが、具体的事例について考えることで、問題状況の把握が容易になり、今日的課題も明確になるでしょう。						
	【到達目標】	法的視点を養うとともに、変容を続ける情報環境に対応できる力を身につけることができる。						
履修条件	特になし。							
アクティブラーニングの方法	【-】	事前学習型	【-】	反転授業	【-】	調査学習	【-】	フィールドワーク
	【-】	双方向アンケート	【-】	グループワーク	【-】	対話・議論型授業	【-】	ロールプレイ
	【-】	プレゼンテーション	【-】	模擬授業	【-】	PBL	【-】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	- (当てはまらない)						
他科目との関連性	情報法 I ~ IV など							
教科書	『よくわかるメディア法(第2版)』鈴木秀美・山田健太編(2019, ミネルヴァ書房) ※必要に応じて、資料配付。							
参考書	『新・判例ハンドブック情報法』宍戸常寿編(2018, 日本評論社), 『18歳からはじめる情報法』米丸恒治(2017, 法律文化社)							
評価方法	授業への参加態度30%, 学習到達度の確認70%							
フィードバック方法	質問については回答を, コメントシートについては, 解説を行います。							
評価基準	授業内容について, よく理解している場合は, その程度に応じてSまたはAを, 理解が一部不十分な場合にはBまたはCを, また, 理解が不十分な場合には, その程度に応じてDまたはEと評価します。なお, 最終授業への欠席など評価不能の場合にはFとなります。							

